

平成19年6月15日

南海電気鉄道株式会社

初夏のみさき公園はベビーラッシュ！

アメリカビーバーの三つ子・アカカンガルーの赤ちゃんが誕生

南海電鉄（社長：山中 諄）が経営する「みさき公園」（園長：川尻龍二／大阪府泉南郡岬町）で飼育しているアメリカビーバーに三つ子の赤ちゃんが誕生しました。

三つ子の赤ちゃんは3匹とも体長約25センチ、体重約500グラム。母乳を飲みながら順調にすくすくと成長しています。当園では、平成8年からアメリカビーバーの飼育展示を続けていますが、赤ちゃんの出産は今回が初めてです。

また、昨年11月には、アカカンガルーの赤ちゃんが生まれました。カンガルーの赤ちゃんは生後しばらく母親の袋内で育てられます。今年5月中旬頃から顔を出し、6月1日に初めて地面に降りました。まだ当分は袋に入ったり出たりしながら過ごします。

詳細は別紙のとおりです。



アメリカビーバーの三つ子の赤ちゃん（写真中央）



カンガルーの赤ちゃん（母親カンガルーの袋の中）

別紙

【1】アメリカビーバーについて

1. 誕生日 平成19年5月23日(水)
2. 出産数 3匹
3. 性別 3匹とも現時点では不明(体長:約25cm 体重:約500グラム)
4. 両親 父親:バビオ(平成8年7月入園)
母親:ヒマワリ(平成12年11月入園)
5. 飼育数 5匹(赤ちゃんを含む)
6. 飼育場所 アメリカビーバー放養場
7. 一般公開 現在、飼育小屋の中で両親に大事に育てられている様子をご覧いただけます。
8. アメリカビーバーについて
分類:ビーバー科
分布:アメリカ
特徴:ビーバーはダムを作ることで有名です。植物や木の皮を主食とし、残った木などをダムの材料とします。

【2】アカカンガルーについて

1. 誕生日 平成18年11月22日(金)
初めて地面に降りたのは6月1日(金)
2. 出産数 1匹
3. 性別 オス(体長:約80cm 体重:約1.5キロ)
4. 両親 父親:カンチャン(平成14年4月当園で誕生)
母親:ティナ(平成13年11月当園で誕生)
5. 飼育数 6匹(赤ちゃんを含む)
6. 飼育場所 アカカンガルー放養場
7. 一般公開 現在、母親の袋の中から時折顔を覗かせる様子をご覧いただけます。
8. アカカンガルーについて
分類:カンガルー科
分布:オーストラリア
特徴:生まれたときの大きさは約2センチです。生後約8ヶ月間はお母さんの袋の中で育てられます。

以上